



統計スポット情報

No. 129

19. 3. 1

福井県総務部政策統計室

子どもの発育について - 学校保健統計調査より -

平成 18 年学校保健統計調査—福井県の概要—を最近公表いたしました。今回の統計スポット情報では、本県の子どもの各年齢の平均的体格を 50 年前（昭和 31 年度）、25 年前（昭和 56 年度）と現在（平成 18 年度）で比較することにより、子どもの発育状況の変化を分析してみました。

1 体格の変化

下の図 1~4 を御覧ください。50 年前と現在を比較すると、男女とも各年齢で、身長・座高・体重が大幅に増加しています。しかしながら、昭和 31 年度から昭和 56 年度にかけては増加幅が大きいものの、昭和 56 年度から現在にかけてはほとんど増加していないことがわかります。

図 1 5 歳（幼稚園）

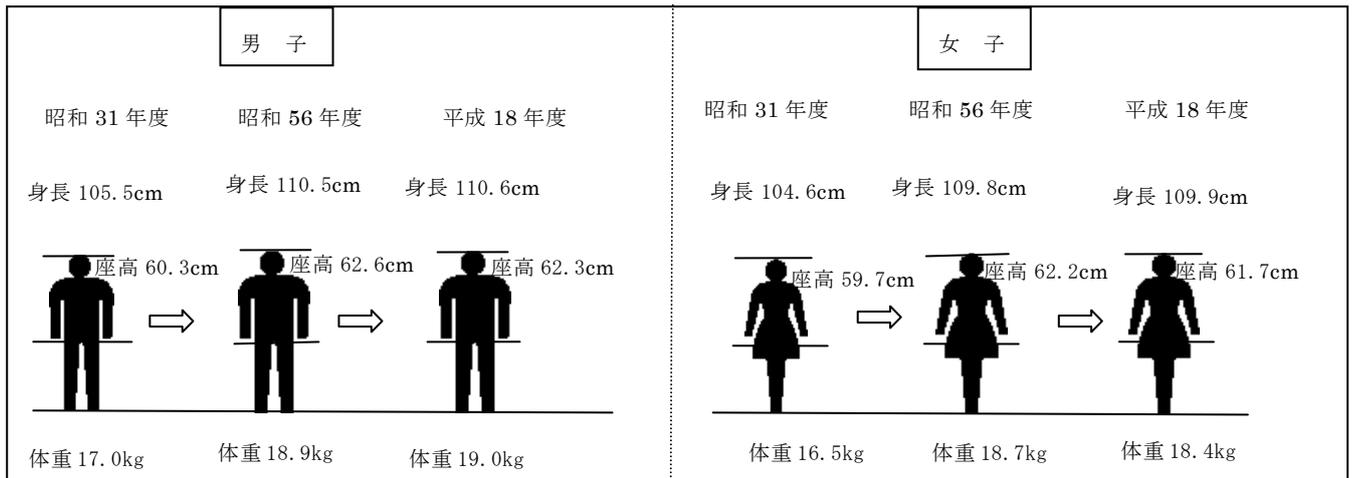
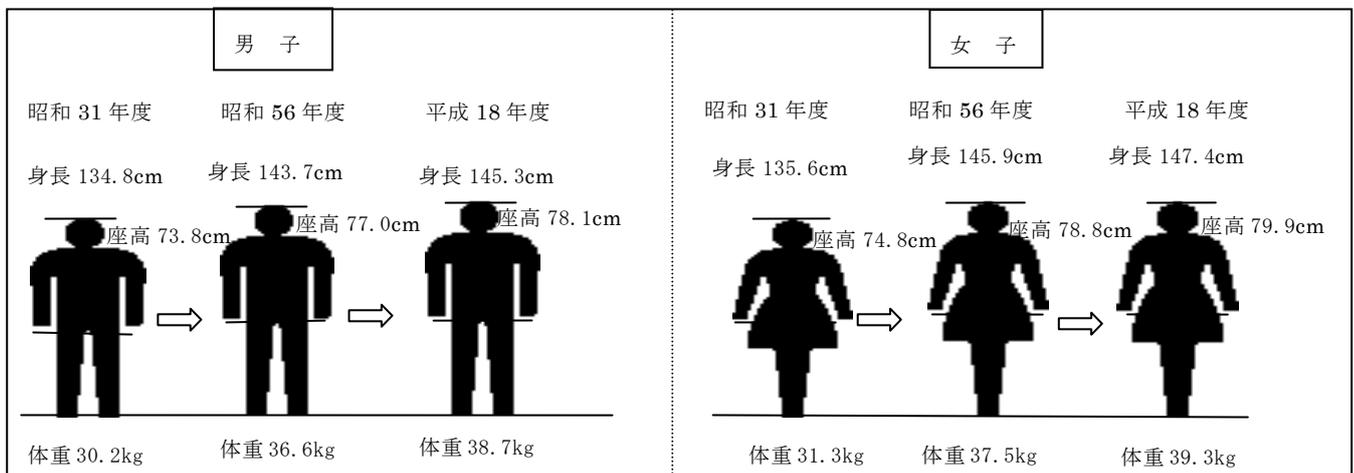


図 2 11 歳（小学校 6 年生）



《裏面へ続く》

図3 14歳(中学校3年生)

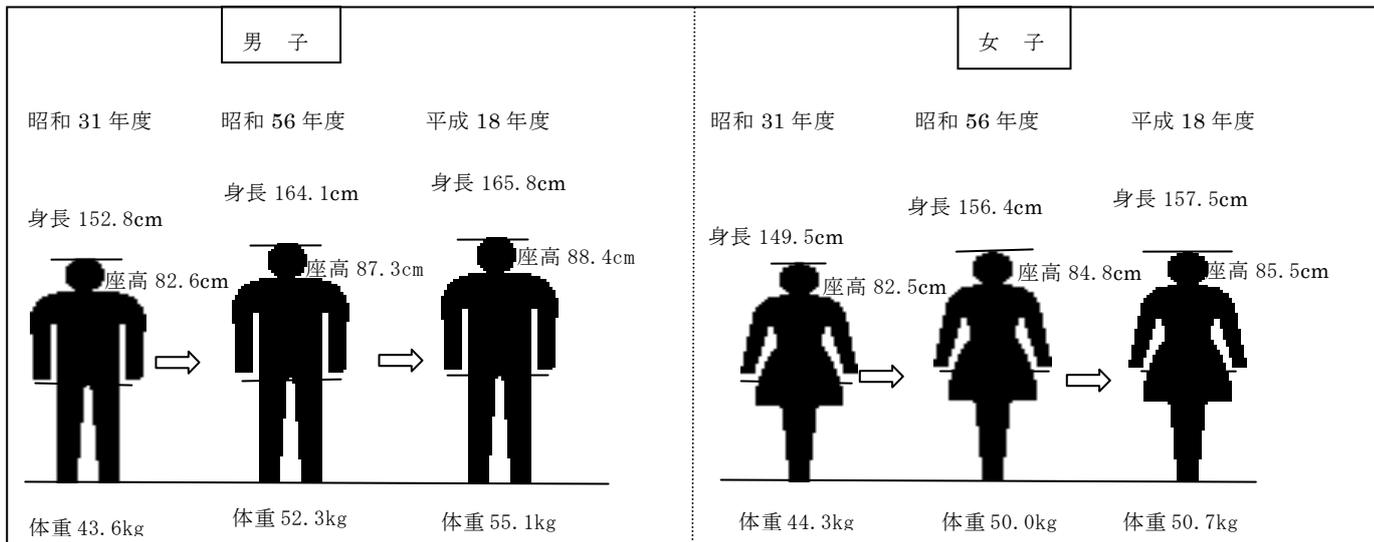
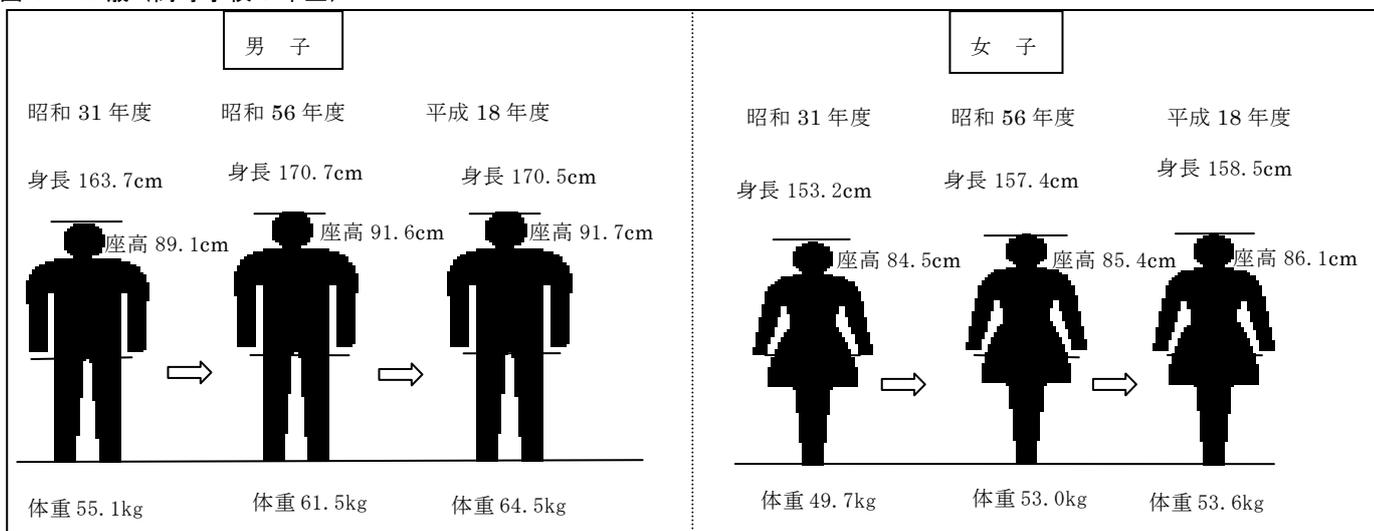


図4 17歳(高等学校3年生)



2 発育状況の変化

図5を御覧ください。この50年間で、発育状況に変化が現れています。

身長に着目しますと、14歳の身長は、この50年間で男子は13.0cm、女子は8.0cmも大きくなっているのに対し、17歳では男子は6.8cm、女子は5.3cmしか大きくありません。また、14歳と17歳の身長の差を各年度で比較すると、昭和31年度は男子で10.9cm、女子では3.7cmの差がありますが、平成18年度では男子で4.7cm、女子で1.0cmしか差がありません。

座高や体重に関しても同様の傾向がみられます。

これらのことから、50年前と比べると現在の子どもの体格が大きくなったことはもちろん、その成長が低年齢化していることが統計上裏付けられます。

図5 体格の差

		昭和31年度		平成18年度		50年間の差	
		男子	女子	男子	女子	男子	女子
14歳	身長(cm)	152.8	149.5	165.8	157.5	13.0	8.0
	座高(cm)	82.6	82.5	88.4	85.5	5.8	3.0
	体重(kg)	43.6	44.3	55.1	50.7	11.5	6.4
17歳	身長(cm)	163.7	153.2	170.5	158.5	6.8	5.3
	座高(cm)	89.1	84.5	91.7	86.1	2.6	1.6
	体重(kg)	55.1	49.7	64.5	53.6	9.4	3.9
年齢間の差	身長(cm)	10.9	3.7	4.7	1.0		
	座高(cm)	6.5	2.0	3.3	0.6		
	体重(kg)	11.5	5.4	9.4	2.9		